

からだの生活のために命の中で王として支配する

聖書：ローマ 5:17, 21. 12:2, 4-5, 11

**I. 神の全体的な救いとは、わたしたちがあふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物によって、命の中で王として支配することです——ローマ 5:17, 21：**

- A. 義の賜物は、神の法理的な贖いのためです。恵みは、わたしたちが神の有機的な救いを経験するためです—— 1:17. 5:10：
  - 1. 義の賜物は、実際にわたしたちに適用される神の法理的な贖いです。
  - 2. 恵みは、わたしたちの有機的な救いのための、すべてに十分な供給としての神ご自身です—— I コリント 15:10. II コリント 12:9。
- B. キリストを追い求める最高の到達は、あふれるばかりの恵みを通して、神聖な命の中でキリストと共に王として支配することです——ピリピ 3:13-14. ローマ 5:17, 21。

**II. 神の有機的な救いの経験は、キリストの命の中で王として支配することと等しいです—— 10, 17, 21 節：**

- A. わたしたちが神の有機的な救いの中でどれほど救われているかが、わたしたちが命の中で王として支配することがどれほど現されるかを決定します。わたしたちが命の中で王として支配することは、わたしたちが神の有機的な救いを経験していることの証拠です—— 10, 17, 21 節。
- B. わたしたちは命の中で王として支配するとき、すべての境遇に打ち勝つことができます。わたしたちはキリストの勝利の中で、勝ち得て余りがあります—— 8:31-39。
- C. わたしたちはその霊とわたしたちの霊との、霊的で、実行的で、経験的な結合の中で、またキリストに接ぎ木された生活をする中で、命の中で王として支配します—— 16 節. 11:17-24。

**III. わたしたちは、神聖で、霊的で、天的で、王的で、王族の命をもって再生されました。この命はわたしたちを座に着かせ、すべての事を王として支配させます——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5. 啓 5:10. ローマ 5:17, 21。**

**IV. 命の中で王として支配するとは、サタン、この世、罪、肉、自分自身、すべての環境の境遇に打ち勝ち、それらを征服し、支配して、あらゆる種類の不従順を征服することです—— 8:2, 35, 37. 5:17-18。**

**V. 命の中で王として支配することは、経験において、神聖な命の統治の下に在ることです：**

- A. あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受けたすべての信者は、神聖な命の中での拘束と制限を訓練する必要があります—— 8:6. 啓 22:1. ヨハネ 8:12. 箴 4:18. マタイ 8:9. II コリント 2:14-15。
- B. わたしたちは主イエスを愛する者として、彼の喜ばしい統治の下に来ました。そこでは愛の甘さの中で拘束されます——コロサイ 1:12-13。

**VI. ローマ第 6 章から第 16 章の啓示に描写されている生活と経験は、わたしたちが命の中で王として支配していることの証明です。**

**VII. わたしたちは命の中で王として支配し、キリストのからだの中で生きる必要があります—— 5:17. 12:4-5：**

- A. わたしたちは自分の天然の命によってではなく、内側の神聖な命によって生きると

き、復活の中にあります。この結果はキリストのからだです——ガラテヤ 2:20. ローマ 8:6, 10-11. 12:4-5。

- B. からだの機能はキリストを表現することです。信者たちがキリストのからだの中で互いに肢体であることの目的は、わたしたちが共にキリストを生き、彼を表現することです——5節. エペソ 1:22-23。
- C. キリストのからだの中で生きるとは、わたしたちが死とサタンに対して、命の中で王として支配することを必要とします——ローマ 5:14, 17, 21. 16:20：
1. わたしたちは死に対して命の中で王として支配しようとするなら、あふれるばかりの恵みと生ける霊を必要とします——5:17. 8:2, 11：
    - a. 死を征服することができる唯一のものは、神の非受造の命です。神聖な命が入って来るときはいつも、死は消え失せません——2, 9-11節。
    - b. わたしたちは自分の存在を主に開き、彼の恵みがわたしたちを通して流れ、わたしたちを満たすようにする必要があります。この流れる恵みはその霊としてわたしたちの中で活動的であり、わたしたちの命となります。この命は死を征服し、死を飲み尽くします——5:21。
  2. サタンに対して命の中で王として支配し、彼に打ち勝つ唯一の道は、わたしたちの再生された霊という高いやぐらにとどまることです——16:20. 箴 18:10. Iヨハネ 5:4, 18。

**VIII. 命の中で支配した（すなわち、神聖な命の統治の下に生きた）結果は、召会生活におけるからだの生活の実行です——ローマ 12:4-5. 16:16：**

- A. ローマ第12章におけるからだの生活をする各面は、わたしたちが神聖な命によって支配されることを必要とします：
1. 思いが新しくされることによって造り変えられる——2節後半。
  2. 自分自身について思うべきことを超えて思い上がらない——3節前半。
  3. 神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思う——3節後半。
  4. 一つのからだの中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないことを考える——4-5節。
  5. わたしたちは命の中で王として支配してはじめて、からだの生活のために、召会生活の中で最高の美德の生活を生きることができます：
    - a. 愛には偽りがあってはならず、兄弟愛の中で温かく愛し合う——9節前半, 10節前半。
    - b. 熱心で怠けることなく、霊の中で燃え、主に仕える——11節。
    - c. 患難の中で耐え忍ぶ——12節後半。
    - d. 喜ぶ人たちと共に喜び、泣く人たちと共に泣く——15節。
    - e. わたしたちはできる限り、すべての人と平和に生活する——18節。
- B. からだの生活は召会生活において表現されます。神聖な命の統治の下に生きることによって、すなわち、命の中で王として支配することによってはじめて、わたしたちは正当な召会生活をするのが可能になります——14:1-23. 16:1, 4-5, 16。